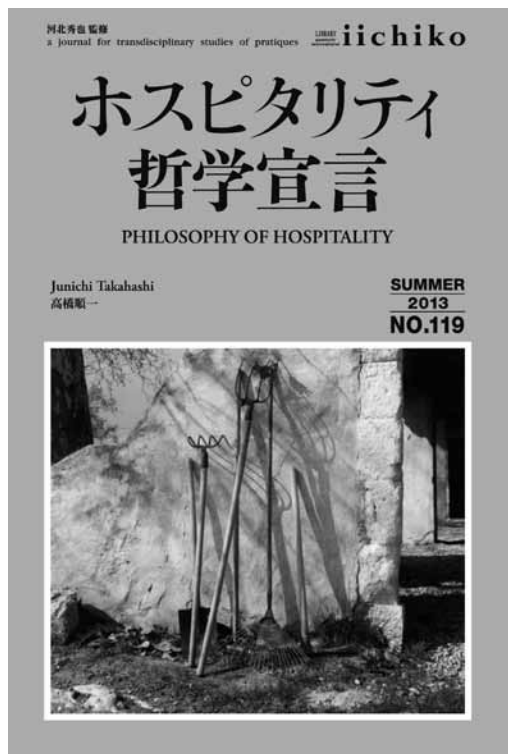


# 『ホスピタリティ哲学宣言』

LIBRARY ICHIKO 119 SUMMER 2013 7月31日 発売予定



A5 変形 128頁 定価 1,575円 (本体 1,500円+税5%)

【監修・アートディレクター】  
河北秀也 (かわきた ひでや)  
1947年生まれ。日本ペリエールアートセンター設立、  
東京芸術大学教授。著書に『デザイン原論』など。  
本誌プロデューサー、アート・ディレクター。

【編集・ディレクター】  
山本哲士 (やまもと てつじ)  
1948年生まれ。信州大学教授をへて現在東京芸大客員教授。  
政治社会学、ホスピタリティ環境学。  
主な著書に、『ピエール・ブルデューの世界』、『吉本隆明の思想』  
『ミシェル・フーコーの思考体系』『ホスピタリティ原論』ほか多数。

「いま、このとき、この場で、この人」のホスピタリティの仕方において、ホスピタリティ哲学の関を高橋順一氏が開いてくれている。ホスピタリティの理論、経済を開いてきたわたしだけではもうない、力強い協働者だ。「いつでもどこでもだれにでも」の個別不在のサービスマンでは、命は守られない。

ひととひと、ひとと自然が「自律」と「共生」を分かちあえる社会の実現に向けて  
ホスピタリティ哲学からホスピタリティ社会理論へ 高橋順一 著

## ■第一部 はじめに

▼第1章 今なぜホスピタリティなのか—問題の前提／はじめに—ホスピタリティの定義／1. ホスピタリティの目標／2. 自然こそが生命の内なる本質である／3. 知性の獲得と社会・文化環境の生成／4. 生命の本質および条件とそれへの気づき・覚醒 (awakeness)／5. 「自然とのバランス」の忘却と「内なる自然の生命」の忘却／6. マニユアル・サービスマンからの脱却／7. ホスピタリティの根本的課題／8. 最新生命・脳科学の分野への着目 ▼第2章 ホスピタリティ研究に向けた理論的見直し／1. これまでのホスピタリティ研究の流れ／2. ホスピタリティ概念をめぐる諸前提—欲待と贈与／3. ホスピタリティ概念の深化のために—「作る」と「成る」 ▼第3章 ホスピタリティにもとづく人間観の転換

1. 近代産業社会が前提としている人間像／2. 近代社会における五感の構造や加齢、障害等の意味の見直し ▼第4章 補説—贈与と欲待の歴史的意味 阿部謹也と今村仁司の著作から／1. 阿部謹也先生の著作から／2. 今村仁司さんの著作から／3. 贈与と欲待の復権に向けて

## ■第二部 「ホスピタリティの思想」の理論的深化に向けて

▼第1章 ホスピタリティ概念への序章／1. 二分法の克服／2. 持続可能性—共同体における代謝・循環のプロセスの捉えなおし／3. 美的なもの—「快」の表現としてのホスピタリティ／4. 垂直存在と傾斜存在／5. オープンであること

▼第2章 「ホスピタリティの思想」の形成に向けた論理的模索／1. 「ものごとへこと」／2. 時間—ミヒヤエル・エンデ『モモ』を手がかりとして／3. 「声」の抑圧／4. 五感

【カラー特集】「博多織の文化技術」博多織 伝統と育成

「LIBRARY ICHIKO」は季刊誌です。次号は二〇一三年四月末発行予定

文化科学高等  
研究院出版局

ehescbook.com

TEL 03(3580)7784 FAX 03(5730)6084

Email: ehesc@gol.com

ご注文は「RCC」へ FAX. 03-3294-2177

文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.03-5730-6084

ホスピタリティ哲学宣言

LIBRARY ICHIKO 119 SUMMER 2013 1500円 (税別)

ISBN 978-4-938710-83-5 C1010 ¥1500円

貴店名

部数